

くにびき通信



2026年度 第3号

(5月18日～6月1日)

大田市山村留学センター 三瓶こだま学園

はじめに

最近、北三瓶で珍しい自然現象に出会いました。みなさんは^{いさりびこうちゅう}漁火光柱と言うものをご存知でしょうか。先日サヒメルの星座観察会に参加した際に、薄雲のかかった夜空を見ながら星を探していると、海の方角の空に4, 5本の幻想的な光が見えました。そもそも光柱とは、上空の大気中で凍った水蒸気の結晶に、光が反射して縦に柱状の光の筋が出る現象です。漁船の光を^{いさりび}漁火と呼びますが、これによって発生する光柱を漁火光柱と言うそうです。個人的に漁火光柱を見たのはこれが二度目で、前は15年ほど前だったと思いますが、今回の方が数も多くはっきりと見えたので感動もひとしおでした。

もう一つ珍しい発見がありました。先月、駐在所の近くで受け入れ農家さんと話していると、足元にカエルが飛び跳ねました。アマガエルなのですが、よく見ると体が黄色です。慌てて捕まえてセンターへ持ち帰り、サヒメルに聞いてみたところ、アルビノの個体だということでした。まれに生まれつき特定の色素を持たないカエルがいて、体が青や黄色になるそうです。個人的に青いアマカエルを見つけることが生涯の目標の一つなのですが、その第一歩としてとても嬉しい発見でした。いまは一時的にセンターで飼育をしているので、立ち寄られた際はぜひのぞいてみてください。

大田市山村留学センター
指導員 浅平泰地

活動カレンダー

5月18日(月)	センター入り		
23日(土)	田車押し	30日(土)	I学期誕生日会
24日(日)	ボッコ釣り	31日(日)	上立石交流会
25日(月)	島根大学演習林見学		
29日(金)	南ネバダ大学交流会	6月 1日(月)	農家入り

田車押し

5/23 (土) 晴れ



現代農業ではほとんど使われなくなった『田車』。今回は地域の方々からお借りして、田車押しの活動を行いました。

田車は、ギザギザの刃がついた回転ローラーを転がしながら田んぼを進むことで、雑草を取り除くとともに土をかき混ぜ、稲の根に新鮮な空気を送り込む役割を果たす農機具です。

この日は一人1台田車を押して作業をしました。重さのある道具のため、苦戦する姿も見られましたが、押しては引くという動作を繰り返しながら、力強く田んぼを進む子どもたち。作業後は、雑草がとれて綺麗な田んぼになりました。秋には立派な稲穂が実ることを今から楽しみにしています。

ボッコ (かさご) 釣り

5/24 (日) 曇り



晴れ過ぎることもなく、ちょうどよい気候に恵まれたこの日、仁摩の海でボッコ釣りを行いました。ボッコとはカサゴのことで、島根県ではカサゴを「ボッコ」と呼びます。

釣り好きな学園生が多く、この日を楽しみにしていた様子でした。前日の土曜日にはミーティングを行い、道具の使い方や釣り方を学びま

した。釣り竿の組み立てに苦戦する子もいましたが、継続生が率先して教える姿が見られました。



翌日は早朝5時半に起床し、眠い目をこすりながら準備を整え出発しました。最初はなかなか魚が掛からない子もいましたが、少しずつ釣果が上がっていきました。多くの子が2~4匹、多い子では6匹を釣り上げました。

釣った魚はセンターへ持ち帰り、鱗や内臓の取り方、三枚おろしの方法などを指導員に教わりながら自分たちで捌きました。今回は刺身、唐

揚げ、骨せんべい、あら汁にして夕食でいただき、自分たちで釣った魚の味を存分に楽しみました。



島根大学演習林見学

5/25 (月) 晴れ



通学路の途中にある島根大学演習林センター。子どもたちは普段何気なくその前を通っていますが、実際にどのような研究や活動が行われているのかを知る機会はありませんでした。そこで今回、演習林センターで働いている農家の父さんからお声がけをいただき、放課後に見学をさせていただきました。

演習林の説明を受けると、「えー、こんなに広いんだ!」と、その広さに驚く子どもたち。また、大学生が葉や木の実を分類する細かな作業をする映像を見て、「すごい!」と感心していました。

さらに、森の一年間の変化を空中から撮影した映像も見せていただき、「一週間でこんなに森って変わるんだ!」と新たな発見があった様子でした。

見学終了後も、しばらく掲示物を眺めたり、演習林センターの周りで松ぼっくりを拾ったりと、それぞれが興味を持ったものを楽しんでいました。身近な自然について学びを深めることのできた、充実した時間となりました。

南ネバダ大学交流会

5/29 (金)



青少年交流の家で、南ネバダ大学との交流会が行われました。北三瓶っ子太鼓クラブは豊年太鼓を披露し、今年度から始めたばかりの子どもたちも声出し班として舞台に参加しました。

子どもたちは先に会場へ入り、準備や配置の確認を行いました。やがて会場に南ネバダ大学の皆さんが入場してくると、お互いに大きく手を振ったり「こんにちは！」と挨拶を交わしたりしながら歓迎していました。



今年度に入ってから全体で練習できたのは一度だけ。子どもたちも不安そうな様子でしたが、堂々とした発表を見せてくれ、会場は盛大な拍手に包まれました。その後は太鼓を通じた交流も行われ、子どもたちと大学生が班を作って一緒に太鼓を叩きました。その他にも、三味線の先生も来てくださり、その演奏に合わせてみんなでソーラン節や阿波踊りを踊りました。

言葉の違いはありましたが、身振り手振りを交えながら交流を深める姿が見られ、子どもたちにとっても貴重な国際交流の機会となりました。



上立石交流会

5/31 (日) 晴れ



センターがある上立石自治会の交流会に参加しました。今年は北の原でグラウンドゴルフを行いました。

まずは班ごとに分かれてそれぞれ自己紹介をしました。その後はいよいよグラウンドゴルフ大会。子どもの部と大人の部に分かれて競技を行いました。「思ったより飛ばなかった…」「うわー！絶対入ると思ったのに入らなかったー」などと、子ども達も試行錯誤しながら熱中していました。1巡目が終わった後も、希望者は2巡目に入り、大いに盛り上がりました。

昼食の時間には、お弁当を食べながら地域の方々と交流を深めました。また、地域のお母さん方が持ち寄ってくださった漬物や煮物などもいただき、地域の温かさを感じるひとときとなりました。

最後は表彰式を行い、それぞれ景品をいただきました。単純な順位以外にも、全部4回で入れた子や、ホールインワンした子なども表彰されました。地域の方々と親睦を深めながら、楽しく充実した一日を過ごすことができました。



1 学期誕生日会

5/30 (土) 晴れ



この日は1学期に誕生日を迎える6人のために、誕生日会を行いました。誕生日会は、準備から当日の進行までみんなで係を分担してやります。今回も料理係、レク係、飾りつけ係に分かれてそれぞれ準備に取り掛かりました。

食事係は献立作りから始まります。誕生日の子に何が食べたいか聞いて、自分たちでできることは何かを話し合いながら決めました。今回は、そうめんにとこ焼き、スティックサラダ、ところてん、パ

フェを作りました。ところてんは固めるのに時間がかかるため、前日の夜に作りました。少人数でしたが、慣れた子が率先して進めてくれました。

レク係はみんなが楽しめそうなゲームを考え、飾りつけは会場のセッティングをしました。



当日は、まずレクリエーションとして、牧草地で『アルティメット』という、フリスビーを使って2チームに分かれてするゲームをしました。最後はみんな「ぜえぜえ」と息切れしながら、全力で楽しみました。その後、レクリエーション第2弾として『逃走中』も行いました。指導員2人がハンターとなり、子ども達が逃げ回ります。

途中でミッションもあり、本格的な逃走中となりました。

レクリエーションを楽しんだ後は、夕食作りと会場セッティングを行いました。流しそうめんの台となる竹は、午前中のうちに2人の小学生が採りに行ってくれました。

食事が始まると、みんなで美味しいご飯をたくさん食べました。食事が始まってしばらくすると有志発表の時間となり、けん玉の技の披露や、カラオケをして大いに盛り上がりしました。最後には美味しいデザートを食べ、1学期の誕生日会は幕を閉じました。

本当はお祝いメッセージをみんなで送る予定でしたが、時間が無くなって出来なくなってしまったため、また別の機会にすることとなりました。



「くにびき通信」2026年度 第3号



大田市
山村留学センター
Sanbe Kodama Academy



大田市山村留学センター
公式ホームページ



バックナンバー

〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694

TEL: 0854-86-0700 FAX: 0854-86-0701 Email: o-sanryu@city.oda.lg.jp